

A new record of *Neottia furusei* (Orchidaceae)
from the south-western parts of Hidaka
Mountains, Hokkaido, Japan

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-03-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24517/00053457

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



助野実樹郎：北海道日高山脈南西部におけるカイサカネランの初記録

Mikio Sukeno: A new record of *Neottia furusei* (Orchidaceae) from the south-western parts of Hidaka Mountains, Hokkaido, Japan

カイサカネラン *Neottia furusei* T. Yukawa et Yagame (図1A, B) は日本固有のラン科植物であり、モイワズナ *Draba sachalinensis* (F.Schmidt) Trautv.などにみられる本州中部地方と北海道との隔離分布を示す植物であることが明らかにされている (滝田2001; 内田・滝田2007)。これまで北海道におけるカイサカネランの産地は東部に偏って分布し、道東地方の6産地で確認されていた (内田・滝田2007) が、道央地方においても、本種を初めて記録したので報告する。

カイサカネランを確認した場所は、北海道浦河郡浦河町字野深に位置し、日高山脈南西部の元浦川の支流部に相当する。植生はシナノキ *Tilia japonica* (Miq.) Simonk., エゾイタヤ *Acer pictum* Thunb. subsp. *mono* (Maxim.) H. Ohashi が高木層 (高さ17m) を形成し、オオモミジ *Acer amoenum* Carrière var. *amoenum* やサワシバ *Carpinus cordata* Blume を交える落葉広葉樹林の林分である。林床には大型の蘚類が優占し、アオダモ *Fraxinus lanuginosa* Koidz. f. *serrata* (Nakai) Murata, オシダ *Dryopteris crassirhizoma* Nakai, モミジガサ *Parasenecio delphiniiifolius* (Siebold et Zucc.) H.Koyama, ミヤコザサ *Sasa nipponica* (Makino) Makino et Shibata などが生育している (表1)。蘚類に覆われた地表面に6個体が確認された。また河床よりも数m高い場所にあり、出水時にも比較的冠水しにくいと予想される (図1C)。

カイサカネランは旧環境庁版レッドデータブック (環境庁自然保護局野生生物課2000) および北海道版レッドデータブック (北海道環境生活部環境室自然環境課2001) では絶滅危惧種として選定されていないが、前者の改訂版である環境省レッドリスト (環境省自然環境局野生生物課2011) では絶滅危惧 I A 類 (CR) として判定された。また本種の開花期は8~9月と他のラン科植物に比べて遅く、これまでの植物相調査では見逃されていた可能性がある。またサカネラン *Neottia nidus-avis* (L.) Rich. var. *mandshurica* Kom. との誤同定も少なくないという指摘 (内田・滝田2007) もある。

以上のことから、カイサカネランは北海道内に広く分布する可能性があり、今後は、北海道全域における分布域や生育環境の把握が必要である。

表1. カイサカネラン確認場所の林床植生

標高 (m)	125
斜面方位	W
傾斜 (°)	21
草本層の高さ (m)	0.3
全植被率 (%)	35
調査面積	2m × 2m
調査年月日	2009/10/2
維管束植物の出現種数	12
種名	優占度・群度*
<i>Dryopteris crassirhizoma</i> Nakai オシダ	1・1
<i>Fraxinus lanuginosa</i> Koidz. f. <i>serrata</i> (Nakai) Murata アオダモ	1・1
<i>Parasenecio delphiniiifolius</i> (Siebold et Zucc.) H.Koyama モミジガサ	1・1
<i>Sasa nipponica</i> (Makino) Makino et Shibata ミヤコザサ	1・1
<i>Carpinus cordata</i> Blume サワシバ	+
<i>Galium odoratum</i> (L.) Scop. クルマバソウ	+
<i>Hydrangea petiolaris</i> Siebold et Zucc. ツルアジサイ	+
<i>Neottia furusei</i> T. Yukawa et Yagame カイサカネラン	+
<i>Phryma leptostachya</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (H.Hara) Kitam. ハエドクソウ	+
<i>Viola selkirkii</i> Pursh ex Goldie ミヤマスマレ	+
<i>Carex</i> sp.	+
<i>Cirsium</i> sp.	+
Bryophyte 蘚苔類	3・3

* Braun-Blanquet (1964) の被度・群度階級による。

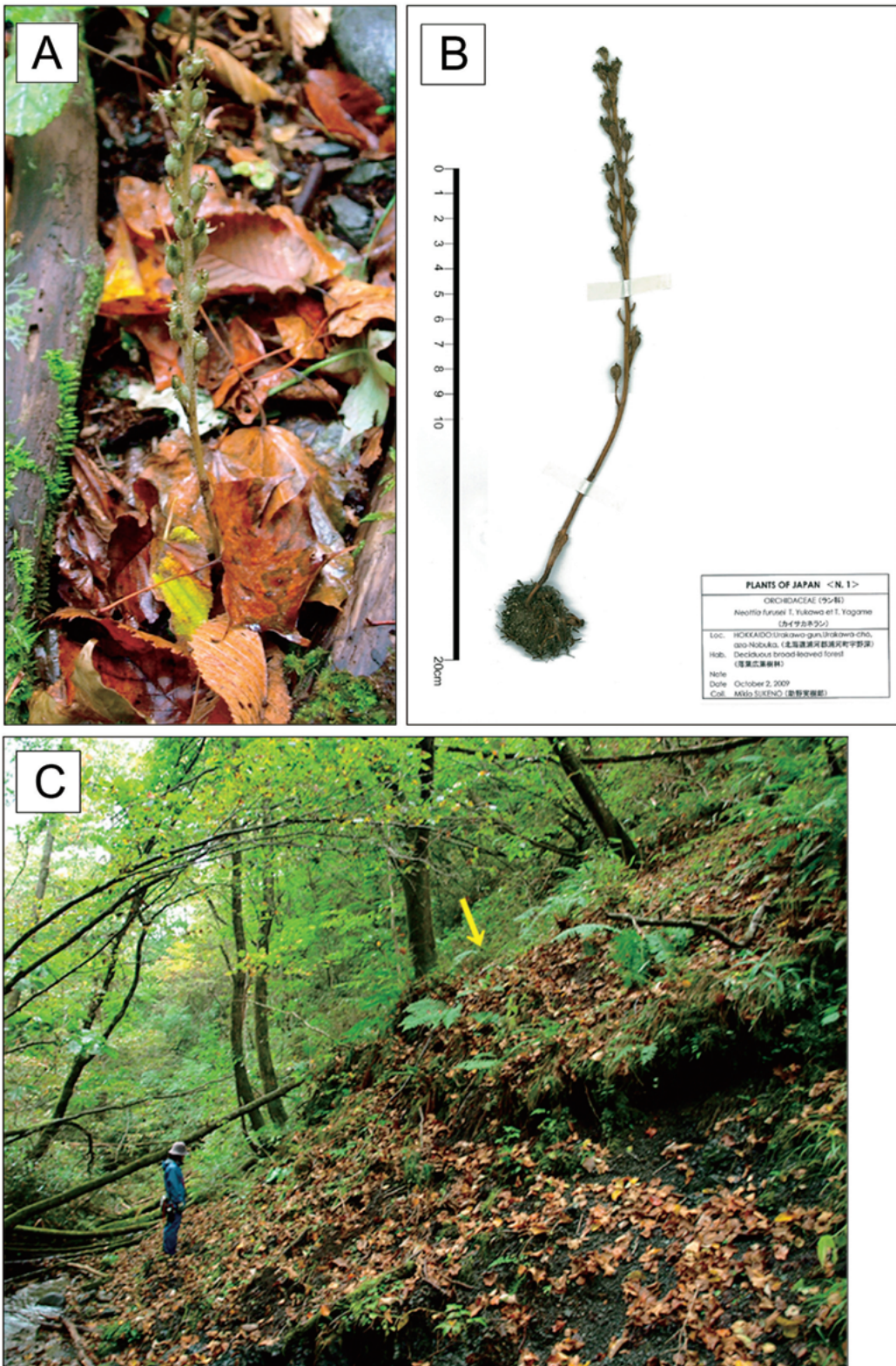


図1. カイスカネランの確認状況および証拠標本。A: カイスカネラン, B: 証拠標本, C: 確認場所。

謝辞

国立科学博物館植物研究部の遊川知久氏、斜里町立知床博物館学芸員の内田暁友氏には、本稿の執筆にあたって、ご助言をいただきました。また北海道野生植物研究所の五十嵐博氏、写真家の梅沢俊氏、地方独立行政法人北海道立総合研究機構の新田紀敏氏には北海道内における本種の確認状況について貴重な情報をいただきました。千葉悠子氏には、ヒグマ生息地での現地踏査に同行いただきました。以上の方々に深く感謝いたします。

証拠標本

採集標本は北海道大学総合博物館陸上植物標本庫 (SAPS) に収めた (*Neottia furusei* T. Yukawa et Yagame, 北海道浦河郡浦河町字野深, 落葉広葉樹林, Oct. 2, 2009, 助野実樹郎, SAPS33375)。

引用文献

- Braun-Blanquet, J. 1964. Pflanzensozioologie, 3aufl. 865pp. Springer-Verlag, Wien.
- 北海道環境生活部環境室自然環境課 (編). 2001. 北海道の希少野生生物 北海道レッドデータブック 2001, 309pp., 8pls. 北海道, 札幌.
- 環境庁自然保護局野生生物課 (編). 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—8 植物 I (維管束植物), 660pp., 16pls. 財団法人自然環境研究センター, 東京.
- 環境省自然環境局野生生物課. 2011. 「哺乳類, 汽水・淡水魚類, 昆虫類, 貝類, 植物 I 及び植物 II のレッドリストの見直しについて」 <http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=8648>
- 滝田謙讓. 2001. 北海道植物図譜. 1452pp. 自費出版, 釧路市.
- 内田暁友・滝田謙讓. 2007. 北海道におけるカイサカネラン (ラン科) の産地. 知床博物館研究報告 28: 7-8.
- (〒060-0810 札幌市北区北十条西5丁目 北海道大学大学院環境科学院 Graduate School of Environmental Science, Hokkaido University, Kita 10 Nishi 5, Kita-ku, Sapporo 060-0810, Japan)

(Received February 28, 2011; accepted October 8, 2011)